

お客様  
事例

## 実用化が進むクラウド・コンピューティング — 産業振興やビジネス面でのサービス・レベル向上に貢献

クラウド・コンピューティングの特徴には、ITをサービスとして柔軟に利用できる点や、データセンターの共通化によるコスト削減やサービス・レベルの向上といった点が挙げられますが、実際にどのような分野で活用されているのでしょうか。ここでは、クラウド・コンピューティングのビジネス面の事例を2件、ご紹介します。

● **中国無錫**

**クラウド・コンピューティング・センター**

「中国無錫クラウド・コンピューティング・センター」(中国・江蘇省)は、ソフトウェア産業の振興を目的として設立された、世界初の商用クラウド・コンピューティング・センターです。中国のソフトウェア企業に従事する技術者に向けて、ソフトウェア製品の設計、開発、テストのために必要とされるリソースをオンデマンドで提供しています。

中国は、オフショア開発の拠点として日本をはじめ世界各国の企業からソフトウェアの開発を請け負っていますが、その内容はこれまでプログラミングなどの下流工程が中心でした。中国政府は、要件定義や設計も含め、より上流工程のアウトソーシングへとビジネスを拡大することを目指して、自国のソフトウェア産業を支援・育成していこうと考えています。

しかし、中小企業や新興企業にとって、大規模



中国無錫クラウド・コンピューティング・センターで開かれた記念式典(2008年2月1日)

な案件を受託できるような開発環境を自社で持つことは容易ではありません。そこで、政府がインフラを用意して、開発者が必要とするときに臨機応変に使える環境と体制を整えればいい—そうした政策で立ち上げられたのが、無錫のクラウド・コンピューティング・センターです。

例えば、パフォーマンス・テストの実施にあたり、1,000個のCPUが必要となれば、その環境を提供し、使用した分だけ課金します。こうしたサポートにより、ソフトウェア開発環境の迅速な展開や、コスト効率の高い共用インフラストラクチャーが実現し、将来的には10万人の開発者を支援していく計画です。さらに、同センターでは、ソフトウェアの開発だけでなく、デジタル化が進むアニメーションの制作現場を支援するための開発環境も整備していく予定です。

こうした中国のクラウド・コンピューティングへの取り組みは、今後のグローバルな規模でのソフトウェアやアニメーション開発の勢力図を大きく塗り替えるかもしれません。国として、クラウド・コンピューティングを戦略的に活用することで産業育成や地域振興に役立て、ひいては国の競争力強化や活性化に貢献する使い方として、注目を集めています。

● **欧州における**

**クラウド・コンピューティング・センター**

ホスティング事業を展開する、オランダのiTricityは、クラウド・コンピューティング・ホスティング・センターの新設を進めています。

iTricityは、母国のオランダをはじめ、ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツといったヨーロッパ諸国で、スポーツ団体や政府、金融機関、自動車メーカーなど、多様な分野の組織や企業にホスティング・サービスを提供している企業です。同社は今後のデータセンターのあるべき姿を見据え、クラウド・コンピューティングの活用に着手しま

した。

iTricityは、新設されるセンターによって、アムステルダムにある5つのデータセンターを管理し、ベネルクス(ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ)地域を広くカバーします。多様なニーズを持つ顧客に対して、サービスはリクエストに応じて迅速かつ柔軟に提供され、料金体系は定額または使用量ベースで、クレジットカードによる月払いです。

また、iTricityのサービスは、高い信頼性を備えるとともに、複数拠点による相互の回復性を持ち、業務ルールや規則を遵守するものでなければなりません。セキュリティの強化や業務継続性の確保、コンプライアンス遵守に対応するため、センターではインフォメーション・セキュリティ・コード ISO27001に従ったオペレーションがなされます。加えて、リソース利用効率を改善することで、業務の生産性向上と同時に省エネルギーも推進していく計画です。

省エネルギーについては、IT機器における環境保護への貢献が強く求められています。従来のように個別のニーズでIT設備の増設に突き進むのではなく、今後は、より大局的な視点からデータセンターの共有化と統合を推進し、社会全体としての運用効率を高める取り組みが重要となってきます。iTricityの取り組みは、まさにそのコンセプトを体現するものであり、今後のクラウド・コンピューティングを象徴するビジネス・モデルと言えます。

\* \* \*

このように、クラウド・コンピューティングは極めて高い信頼性や耐障害性が求められる商業領域で利用される段階にまで達しています。また、幅広い分野で活用される可能性を秘めており、今後、教育・研究分野や人材育成のほか、さまざまな分野で適用が進むことが期待されています。

## IBM イベント・セミナーのご紹介

- イベント・セミナー情報は こちらから <http://www.ibm.com/news/jp/events/>
- お申込・お問合せは、弊社担当営業または下記問合せ窓口までご連絡ください。  
[お問合せ先] 日本IBM 公共イノベーション e-メール: IBMPUB@jp.ibm.com

### ITインフラストラクチャー・コンファレンス2009 – Summer ~クラウド・コンピューティングで企業のITインフラが変わる~

開催日: 2009年7月31日(金)  
場所: ロイヤルパークホテル

次世代の共通IT基盤として注目されているクラウド・コンピューティング技術の活用を本格的に検討されるお客様が日本においても増えてきています。本コンファレンスでは、IBMのクラウド戦略とクラウド・コンピューティングがもたらすビジネス変革について事例を交えながらご説明するとともに、お客様のIT環境に対応したクラウド・コンピューティング実現に向けた具体的なソリューションをご紹介します。

### WebSphere CloudBurst 発表セミナー

開催日: 2009年8月6日(木)  
場所: IBM箱崎事業所

本セミナーでは、お客様がクラウド環境を構築する際に、仮想化環境におけるハードウェアの使用率を高めるとともにアプリケーション開発や運用保守を容易にするハードウェアとソフトウェアを組み合わせた統合型ソリューション製品「IBM WebSphere® CloudBurst Appliance」の詳細を初披露いたします。

